

ニワトリへの飼料給与

飼料会社が配合して農家に販売する⇒ **配合飼料**

■ニワトリの日齢や産卵量による飼料給与の区分

たくさん卵を産める時期（産卵期間の前期）には、産卵後期よりも栄養価の高い飼料を給与して、ニワトリがもつ能力を発揮できるようにします。

■季節や気温の違いによる飼料給与の区分

ニワトリは、外部の飼育環境に左右されやすいので、飼育環境の改善のひとつとして、季節に応じてエネルギー量やタンパク含有量の調整をします。



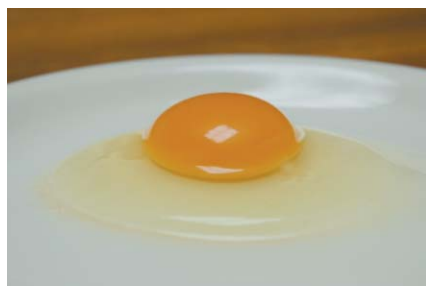
ケージで飼育されているニワトリには、自動給餌機で1日に2～3回エサが給与されます。

鶏舎の種類によっては、給餌、集卵、除ふん、換気、温度調整などが機械化により自動化されています。

おいしいタマゴは バランスのとれたエサから

■ニワトリの配合飼料に求められること

- タマゴの品質がよく、安定していること
- たくさんタマゴを産むことができること
- ニワトリの健康が維持・持続できること



特徴的な原料は

トウモロコシ ・ニワトリのエサの約50%～60%を占めます。エネルギー源として重要な原料です。

大豆粕等 ・タンパク源として重要な原料で、穀類(トウモロコシ)に次いで多くの割合を占めます。(約15%)

魚粉 ・ニワトリのエサの蛋白源です。イワシを粉末状にしたものです。

その他 ・主要な原料だけでは不足するビタミンやミネラル、卵黄の色を鮮やかにするため、パプリカの抽出物なども、添加されています。
・タマゴの殻になるカキガラなども大切なものです。

ニワトリは1年間に約300個のタマゴを産みます。

タマゴを産む鶏（成鶏）は、1日に110g程度のエサを食べます。



図表中の数値は一般的なものであり、飼育方法等により異なる場合もあります。